

[担当教員]

梶橋修（教授） 栗山尚子（准教授） 深川礼子（ofa）

[Teaching Assistant]

成川純平（A71） 梶山彩花（A71） 松森利佳子（A71）

## ■課題概要

図書館機能と地域コミュニティの醸成に資する機能の組合せによって、現代の地域ニーズに合った地域図書館を、計画・設計する。

## ■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

## ■敷地

敷地Ⅰ、敷地Ⅱのうち、ひとつを選択すること。

- ・敷地Ⅰ：阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。
- ・敷地Ⅱ：阪神新在家駅南側、新在家南公園の北側の敷地。



## ■計画建物の概要

- (1) 延床面積 1,600 m<sup>2</sup>前後

（±10%程度の増減は可、ピロティ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。）

注意：敷地Ⅰ、Ⅱはともに容積率 200%の地区で 3,000 m<sup>2</sup>以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。

- (2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）
- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）
- (4) 所要室：閲覧部門 490 m<sup>2</sup>程度、集会・地域活動部門 300 m<sup>2</sup>程度、収蔵部門 130 m<sup>2</sup>程度、共通 適宜、管理部門 80 m<sup>2</sup>程度～、外部空間（エントランス広場、読書テラス、駐車場 ×2 程度、駐輪場 ×20 程度）

## ■提出図面・用紙

- (1) 所要図面

- ・配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。
- ・各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。
- ・立面図・断面図 1/100 主要面・1面以上。
- ・透視図（必須）1 葉以上
- ・模型写真（必須）・完成模型（必要に応じて）
- ・設計主旨 ・面積表
- ・ダイアグラム、プログラム等（必要に応じて）

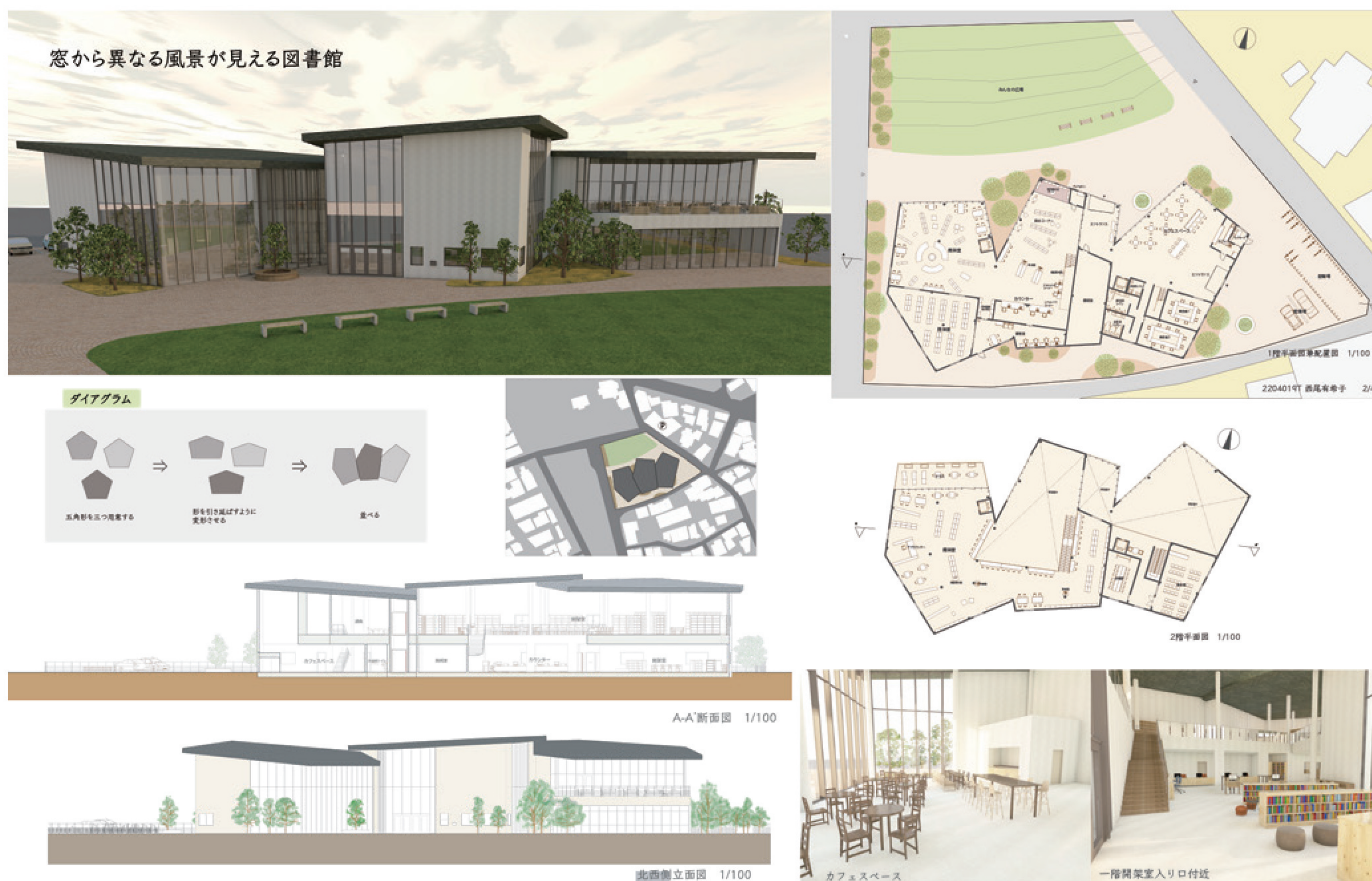
- (2) 用紙：

- ・A1 ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）鉛筆、インキング等の仕上げ自由。デジタル仕上げでも可

## 窓から異なる風景が見える図書館

西尾有希子

建物は3つの部分から成っており、繋がっていてもそれぞれの空間は区切られている。東側から地域の人のための空間、図書館の賑やかな空間、図書館の静かな空間となっている。建物正面の窓は異なった方向を向いているため、窓際に配置された机と椅子から見える風景は異なって見える。

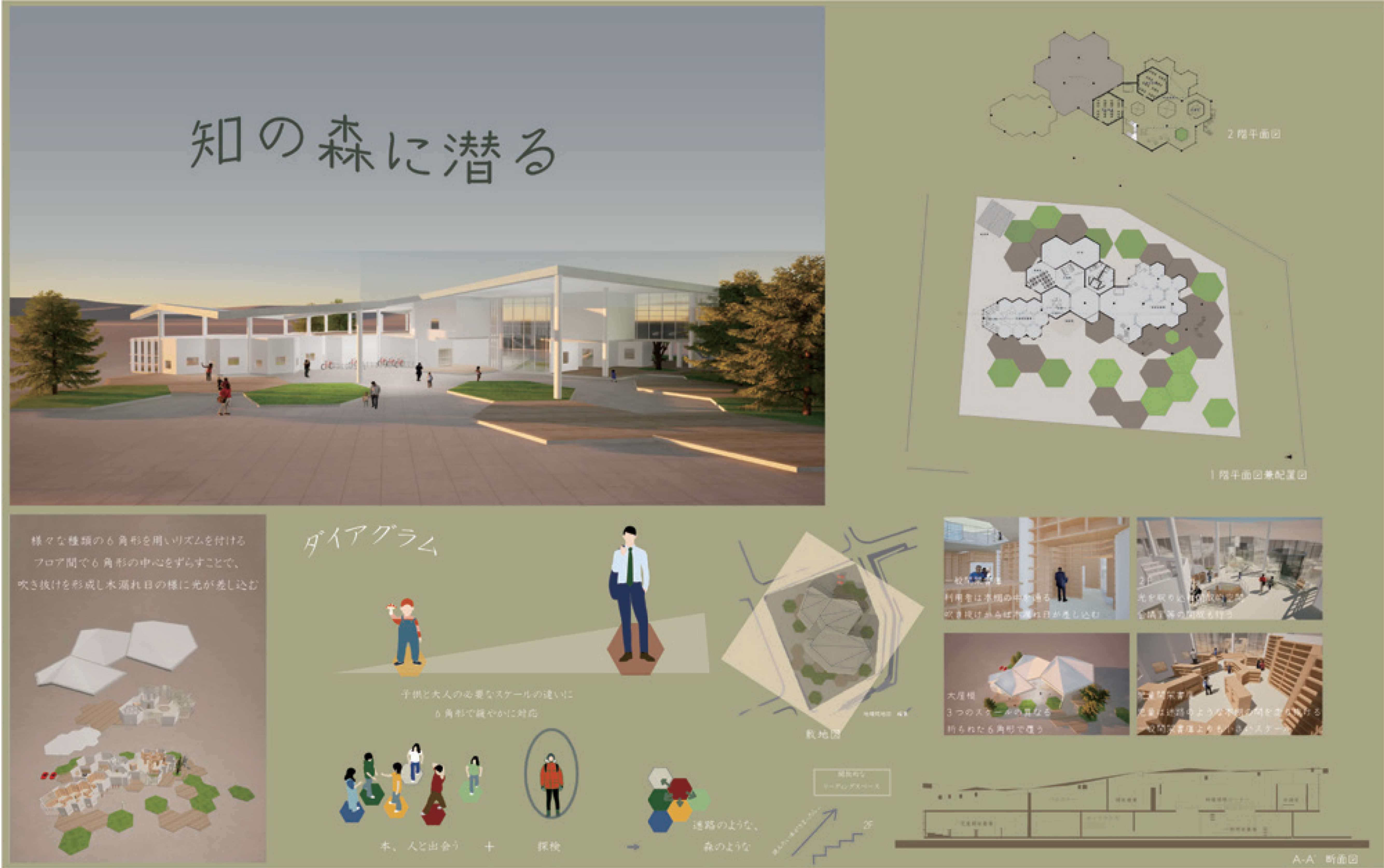




知の森に潜る

寶正風香

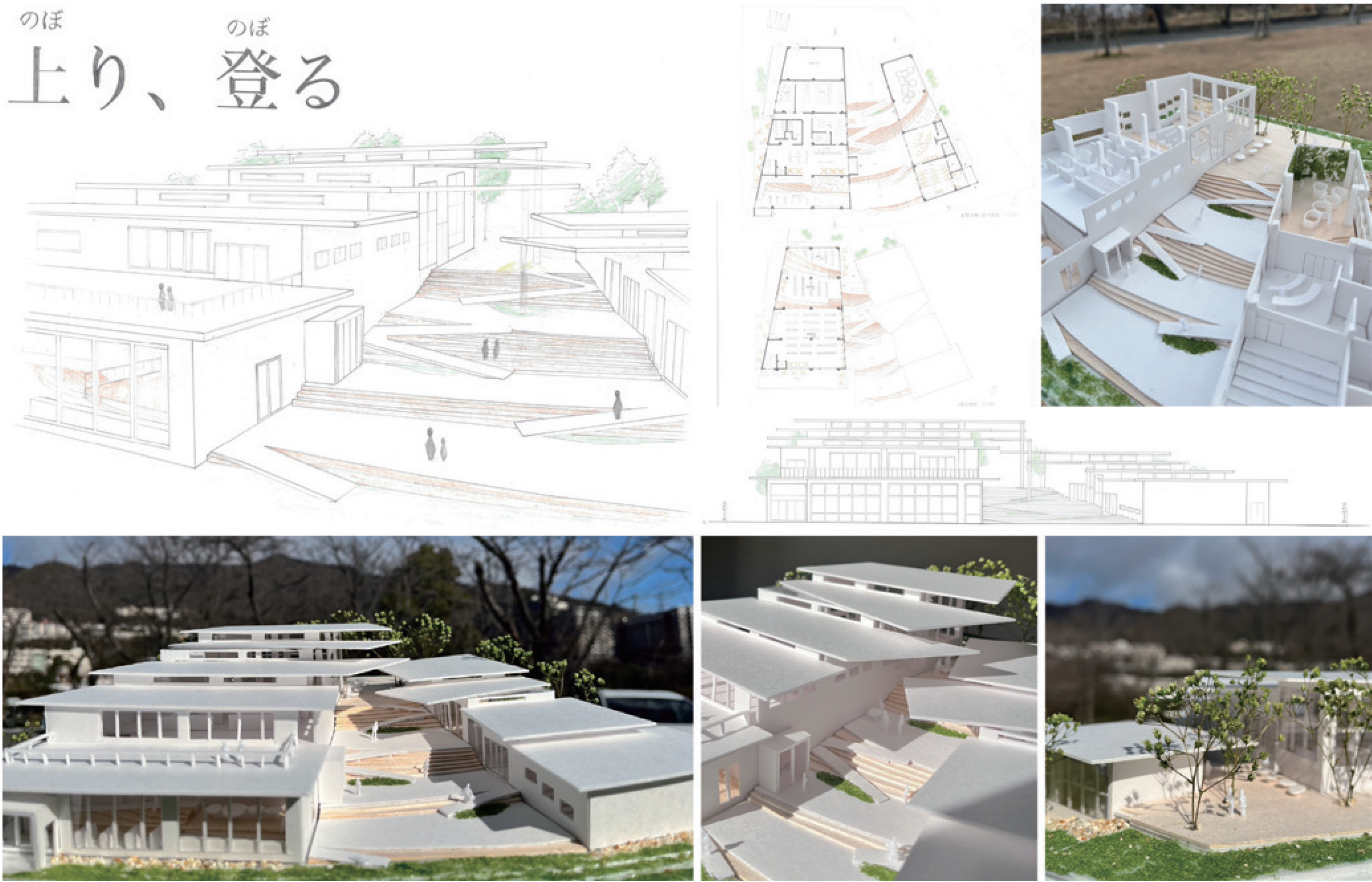
変化に富んだ空間が訪れる人を読書へと誘い新たな読書体験を与える。六甲のふもと新在家に小さな森を作る。面白い本に出会った時、人はその本の世界に深く潜るような感覚になる。森のように本棚が広がり、閉塞感と解放感、明るさと暗さなど相反するものが共存する。



上り、登る

河合友理子

階段を「上る」過程で感じる、鬱蒼とした木々や風、木漏れ日は山を「登る」情景を想起させる。このような立体的で緑豊かなランドスケープが人々を誘う公共の場となり、資料館や図書館で知性を養うと共に、多様なコミュニティが形成されることを目指した。





# Mt.Library

松嶋祐希

山での体験を日常的な図書館に落とし込む。山の体験として「多様な出会い」「自由な行動」体感の変化」を抽出し、マーケットを催せる広場や屋上公園、洞窟のような通路、木のような本棚等を設け、多様な人が交わり、自由に活動し、新たな体験ができる、豊かな図書館を提供する。



# 本と緑の階段

中村梓

神社に隣接する敷地にラウンジを併設した図書館を設計する。2棟の建物に囲まれた道が内と外の間領域となり、行き交う人々を本に囲まれた空間へと誘う。この段状の建物と閲覧室の3段階のスキップフロアにより、内外を相互に感じながら本に没頭できる空間を目指す。

